



# げんきっこ

4・8



## はなまつり

4月8日は仏教を開いたお釈迦様の誕生日です。今から3000年前くらい昔、お釈迦様はインドの国のルンビニーという花園でお生まれになりました。そこには、一面赤、青、黄といろとりどりの花が咲き乱れておりました。誕生されたお釈迦様は、すぐに7歩歩いて右手をあげて天を指さし、「天上天下唯我独尊」と称えられたと伝えられています。それは、「われはこの世の中で立派な人になって世界中の人々を救わん」「人は生まれながらにして何ものにも代えられない独自の尊厳性をもっているものである」「人は生まれながらにして尊し」とお互いの人間性の尊重を教えられているのです。そして天はさらさら甘い雨を降り注ぎ、お釈迦様の身体を清めたと伝えられています。花まつりの花御堂はルンビニーの花園を型どって作り、そこに天と地を指さしておられる誕生仏をまつり、甘茶をかけて祝福するという習わしは古来より伝えられたもので「はなまつり」と呼ぶ由来もそこにあります。

花まつりは、お釈迦様の誕生をお祝いするとともに、私たちが人間として生まれてきたことの意味をお釈迦様の教えによって明らかにしたいとおもう心を持つ日でもあります。

## みんなで作った花御堂

子どもたちがクラスで作ったお花を持ち寄って、飾り付けをしました。



新しい園庭に白い象に乗られたお釈迦さまがいらっしゃいました。みんなで手を合わせてお祝いをしました。

## お誕生日のもうひとつの意味

お釈迦様は、生後7日にして、実の母マアヤを失っています。お釈迦様の「世に母あるは幸いなり」のこの一言は子どもが親を、親が子どもを思う心を物語っています。花まつりの意味は、お釈迦様の誕生を祝うだけでなく、苦しい思いをして自分を生んでくれたお母さんに「生んでくれてありがとう」を伝える日でもあります。

あおい保育園では、子どもたちは自分の誕生日にお母さんにペンダントを渡します。このペンダントには「自分を生んでくれてありがとう」の気持ちが込められています。



## お知らせ

今週から、きく組、ちゅうりっぷ組、ばら組は体育教室が始まります。体操服で登園しましょう。

